

# 法政大学第一高等学校同窓会報

(題字は馬場校長筆)

編集人 黒澤九孔 (同窓会・広報委員長)  
 発行人 大石勝康 (同窓会・会長)  
 発行所 法政大学第一高等学校同窓会

平成4年2月29日(土) [発行]

第17号

武蔵野市吉祥寺東町3-5-7 ☎0422-22-8131 (代)

本会は母校の発展を願う卒業生が相互の親睦を密に連絡を密にし、互助の密をあげることとする。(規約第2条)



特別教室棟の完成予想図 (関連記事=3面)

## 同窓会の理念遂行に

### 全会員のご協力を

会長 大石勝康

平成四年新春を迎えて會員の皆様にはますますご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。  
 昨年は正月早々、多国籍軍のイラク攻撃開始、2月28日には停戦、そして東独に始まった社会主義諸国の解体の波は、遂に12月25日にゴルバチョフ連邦大統領の辞任により



大石会長

り69年間続いたソ連邦の消滅。国内においては、バブル崩壊による証券・銀行等金融機関の不祥事件の発生。  
 相撲界では「若貴フイバー」と横綱千代の富士の引退による新旧交代のうねりが押し寄せるなど、国内外まさに目まぐるしい激動の一年でございました。

しかしこのような世の中の動向にかかわらず、わが同窓会が卒業生相互の親睦の和を着実に広げつつありますことは、永年にわたる諸先輩役員各位のご尽力の賜物と深く感謝いたしております。

今後同窓会の運営につきましては、「同窓会の基本理念であります「母校の発展を願う卒業生互助の実をあげる」とを基盤として、昨年に引き続き、次の諸事項の遂行充実を、図りたいと考えております。

- 一、組織の強化拡充
- 二、会費の徴収による財務の安定化

- 三、同窓会会報を定期発行と内容の充実
- 四、同窓会名簿の見直しと改訂版発行の準備

今後、更に同窓会発展を図るべく努力いたす所存でございます。會員の皆様のご理解とご支援ご協力を心から

## 学校の将来と

### 同窓会

同窓会名誉会長 馬場 昌平  
 一中・高校校長 馬場 昌平



馬場校長

まずはじめに、同窓会の皆さんから口頃、物心両面にわたって多大のご支援をいただいていることにたいし、心からお礼を申し上げます。

私達の学校が創立五〇周年を迎えてから六年が経ちましたが、その後、学校は同窓会の皆さん、PTAの皆さん方

お願い申し上げます。  
 今年はサル年です。過去、サル年は何かと難問処理の多い年と云われております。景気も前半は横ばい、後半には上向くという予想も出ております。  
 今年も會員皆様のご健康とご繁栄を祈念申し上げてご挨拶といたします。

のご協力により、着実に発展していると申し上げてよいかと思えます。既に中学・高校就学人口の急減期に入っておりますが、むしろ、現在、質のよい生徒の入学希望者が増えております。長年の夢がかなえられ、今年の秋には「特別教室棟」(地上四階、地下一階、総工費八億三千万円)が竣工します。最近、狭い土地ながら隣接地の購入も実現しました。  
 しかし、世の中はいっそう変化の速度を早めております。学校五日制の導入も時間の間題となっております。また、一九九四年に向けて、カリキュラムの改定が行われようとしております。国際化社会に対応する学校の在り方も広い視野から捕らえなければなりません。学校の将来像を考え、けつして担々たる道が続くと考えられません。私達は内部の教育をしっかり固めるとともに、さらに多方面に開かれた学校をめざす必要があると考えています。  
 その一つに同窓会との関係があります。私は、同窓会の皆さんが心の拠りとなるような学校、いろいろの催しを学校を中心として展開してくれるような学校、そして、同窓会の皆さんが何時でも、気軽に立ち寄ってくれるような学校にならなければならぬと考えています。

最近、同窓生の結婚式に招待されたことが多くなりました。また、クラブの会合にも度々、出席させてもらっています。わが校の卒業生には独特の雰囲気がありますし、その特性を生かして、社会で立派に通用しているのを拝見するのは、何よりも嬉しいことです。私が個人的にお付き合いしている同窓生は、みな素晴らしい人ばかりです。現在、学校で「教養文化講座」(市民講座)を開いておりますが、その間に、卒業生の方が参加するようになりました。卒業生の父母の方も大勢受講してあります。同窓会、同窓生との親密な関係をさらに広げたいと望んでいます。

# 平成3年度

# 委員総会開催

**平成3年度委員総会開催**  
 平成3年度のクラス委員総会は、平成3年6月12日(水)四谷駅前の主婦会館において午後6時半より開催されました。

当日は、法政一高より、小川純一郎副校長先生、事務局長の岡倉勇先生が出席され学校の近況などについて報告がありました。

当日の出席者は左記の通り(敬称略)

- (商1) 大島(中1) 大木(商3) 西村(商4)
- 岡本、黒塚(中5) 前田(中7) 田沢、神宮(中9) 片庭、片岡、大石(高2) 中島、櫻原、朝井、鈴木(高5) 渡辺(高7) 山田(高8) 岩村(高9) 川城(高10) 鈴木勝雄(高12) 望月、中村(高13) 野村(高17) 村木(高32) 山口(高36) 山崎(高40) 田中、計29名。

大盛況の内に開催できましたことを心から御礼申し上げます。今後共よろしくご協力のほどお願い申し上げます。との挨拶があった。

### 委員総会議事

#### (1)平成2年度経過報告

大石会長より  
 イ、平成2年6月27日有楽町二ニュートキヨーにおいて同窓会新旧役員による総会の反省会を開催。  
 ロ、平成3年1月26日関内「大雅飯店」において、第6回法政大学附属校同窓会役員懇親会に一高より大石、岩村、鈴木、の3名出席。

ハ、平成3年3月8日法政一高平成2年度卒業生8クラス委員と懇親会開催。  
 ニ、平成3年3月9日法政一高平成2年度卒業証書授与式に野村、大石、鈴木、黒澤の4名出席。

ホ、平成3年5月8日飯田橋法政大学体育館会議室において、同窓会役員会を開催。につき報告があった。

#### (2)平成2年度会計報告と監査報告

「平成2年度収支決算案」につき榎原財務副委員長より別項収支決算書の説明があり収入の増加は同窓会総会が開催され多数の参加者があったためである旨説明があった。

引き続き片庭会計監査より、決算書と帳簿が適正である旨監査報告があり、満場一致で承認された。

#### (3)平成3年度事業計画

岩村副会長より  
 イ、第17号同窓会会報の発刊について、予算の関係で現在年一回しか発刊できないがその分、内容を充実したものにした旨説明があった。

ロ、同窓会名簿の整備について、なかなか根気のいる作業であるが今後も着実に整備してゆきたい。

ハ、学校協力について、平成1年度より卒業生新会員クラス委員と懇親会を開催、同窓会の説明と今後の協力をお願いしている。今年も続けて開催したい。また、卒業生に記念品としてシャープペンを贈呈している。

ニ、法政大学附属高校同窓会役員懇親会につき説明があった。

以上の提案に対し満場一致で承認された。

#### (4)平成3年度収支予算案

榎原財務副委員長から事業計画に沿った別項の平成3年度収支予算案の提案説明があり、この提案に対し満場一致で承認された。

#### (5)平成4年度同窓会総会開催について

大石会長より提案  
 平成3年5月8日開催の役員会において、次回同窓会総会は平成4年度であるが、2年毎の開催はその準備の都合上、世話役である役員並びにクラス委員は総会が終了するまで直ぐ次の準備に入らねばならず、息つく暇もない。平成4年度の総会は一年延期し平成5年度に開催願えないか、との強い要望があり本日の委員総会にお計りする次第である旨の提案があった。

本件につき充分討議した結果、過去、昭和60年度にも同窓会総会を委員総会にかえて総会としていた前例もあり平成4年度総会は委員総会にかえて開催し、平成5年度に同窓会総会を盛大に開催するよう、平成4年度に準備委員会を発足させることで本件は満場一致で承認された。

(6)平成4年度入会金と年会費の改訂

大石会長より、次のような説明があった。  
 本件につきましては、平成2年度開催の同窓会総会において、平成4年度より入会金を三千円に、年会費を二千元に改訂させていただくご承認を得ておりますので、平成4年度より実施させていただきます。以上6議題を決議し、その後、野村顧問(前会長)の乾杯で懇親会に入り和気藹藹のうちに、午後8時半お開きに円に改訂させていただくご承認を得ておりますので、平成

## 青春時代に戻る!

## 同期会・クラス会



66名が参加した高校3期(昭和26年卒)の合同同期会=箱根塔の沢・ホテル観山苑

◎クラス会、同期会 同窓会員の活躍ぶりなど、本紙に紹介したい記事をぜひお寄せください。広告も載せられます(有料)。原稿は一面の同窓会住所宛にお送りください。皆さんのご投稿をお待ちします。

高校卒業後40年を迎えた高校三期卒の合同同期会が平成三年7月20、21日、一泊二日で開催されました。

寺本先生以下、六十六名という多数の方が参加、大盛況となりましたが、会場は1組の吉田晃君(大和総合観光Ⅱ新宿区・電話03三三六三三四三七七・社長)の紹介で、箱根塔の沢のホテル観山苑。

(1組・5組)の猛者連は夕方午後三時から集合した同期会。こちらでもすっかり青春時代に戻った顔、顔がこちらこちらで車座になりお互いの近況や友人の消息話で深夜まで大盛況。

翌朝は幹事代表の吉岡武勇君(3組・インテリアアソシオカ社長)が「来年もまた開きましよう」と挨拶、自由解散となった。参加者から好評を得た同ホテル利用の照会は前掲の吉田君あてにどうぞ。

(1組幹事・黒澤九丸)

# 法政一中・高の 現況報告

一・中・高校 副校長 小川純一郎

国際交流について  
★中三生徒・ボクリントンへ  
第三回目のイギリス・ボクリントン、サマーキャンプに中学三年生三十名、引率教員三名が参加しました。

★ラグビー部・ニュージランドへ  
本校とニュージランド・ケルストン高校との国際交流協定に基づいて、平成三年八月九日から八月十三日までの十五日間、高校ラグビー部生徒三十五名、OB二名、引率教員三名でケルストン高校を訪問しました。そして、ラグビーの試合とホームステイのお世話になりました。

国際人としての国際感覚を身につけるとともに、異文化の家庭での貴重な体験、英会話の実践的な習得をすることも、ラグビーの試合を通して、高度な技術を身につけたものと思います。

一、国際人としての感覚を身につける  
二、イギリスの歴史や自然に触れ、それを大切にしてきた文化的意義を、体験して学ぶ  
三、コミュニケーションとしての英語を習得すること  
を意義・目的として実行されました。

参加した生徒一人一人がここからの生き方に貴重な体験



## ★特別教室棟の建設始まる

創立五十周年のとき以来、懸案になっておりました特別教室棟(地下一階、地上四階)の工事が平成三年八月七日地鎮祭で始まり、平成四年九月完成予定です。

教育上の充実とともに設備の拡充を目指したいと考えておりますので、ご支援をお願いいたします。

## ■中・高文化祭実施される

恒例の生徒会主催の文化祭は、九月二十八日(土)二十九日(日)の二日間行なわれました。詳細につきましては生徒委員会の報告をご覧ください。

## ■新しい教育課程を検討中

ご存じのように新教育課程

# 特別教室棟について

建設委員会 森田 勉

既にご存知かと思われますが、特別教室棟は、創立五十周年記念行事の一環として、記念会館とともに昭和六十一年度に建設される計画でした。しかし、諸般の事情により、この計画は延期されました。

その後、学内外(特に父

層)からの要求もますます強くなってまいりましたし、資金的準備の見通しも立ちましたので、昭和六十三年度の七月から、特別教室棟建設委員会を発足させ、具体的準備が

が改訂され中学が移行期間に入り、高等学校は平成六年より実施に移されます。

本校におきましても、大学の付属として、また私学の独自性を盛り込んだ充実した教育内容をつくるため、教科委員会において精力的に検討をしております。

## ■隣接地購入について

校地の東側の隣接地約六千四、五坪を購入することが決まりました。

校地の有効利用の検討をしたいと思います。

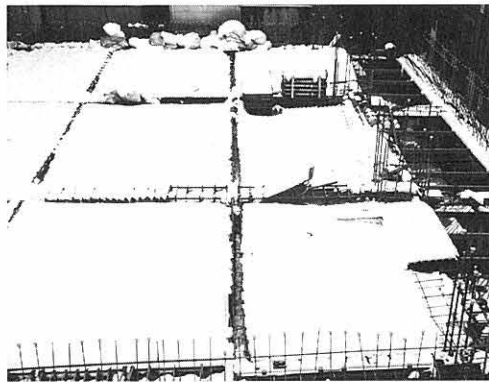
(二階) L・L教室  
(三階) 中学美術室  
(四階) 中学理科室

内部施設については、利用する生徒たちに感動を与えるような内容にしたと計画しています。また、外観については、近隣の落ち着いた雰囲気にあふれ、上品で気品あふれる建物であり、かつ、「ここに法政あり」という印象が残るようにしたいと考えております。

現在、設計会社、施工業者および大学と月二回の定例総

合会議を持ちながら、予定通り、順調に工事を進めております。これからの法政一高のシンボルになると思われ、この(新)特別教室棟をこらになっていただき、お一人でも感銘を受けていただきますれば、計画に携わってくださる者として、これ以上の喜びはございません。

本年九月に竣工予定でございますので、完成のあかつきには、ぜひ、皆様足を運んでいただきたいと思っております。で、よろしくお願い申し上げます。



特別教室棟の建築工事現場(地下部分)  
平成4年2月1日 現在

## 特別棟、地鎮祭に 同窓会役員出席

特別教室棟の地鎮祭が、平成三年八月七日にとり行なわれ同窓会から大石会長、前田岩村副会長、鈴木総務、黒

地鎮祭に列席した同窓会関係者



澤広報委員長が列席、工事の無事を祈りました。また当日は倉沢元会長、野村前会長、大木副会長の皆様もお見えになり、ともに母校の発展、充実に喜びあいました。

祭儀は阿利法大総長、馬場校長、大成建設関係者らの御入れなどが厳かに行なわれ、工事の無事を祈って終了。式後、記念会館の大会議室に席を移し、馬場校長の挨拶・来賓祝辞などに続いて、工事担当の大成建設責任者の音頭で伝統的な祝い歌が元氣よく歌われ、お開きになりました。(重澤)



第四十四回

プラタナス祭

今年度で四十四回を数える文化祭(プラタナス祭)は、平成三年九月二八日(土)・二九日(日)に行われました。このプラタナス祭は、生徒会の年間最大の行事であり、生徒会執行部、文化祭実行委員会の生徒を中心に、「調和の瞬間」をスローガンに掲げ、一学期から準備を重ねて、高生全員が参加し、創りあげたものでした。

前日の夜は台風の影響で、荒れ模様でしたが、当日は両日とも好天に恵まれ、多くの来校者があり、大いに盛り上がりを見せました。文化祭の内容は、クラス・クラブ・有志の出し物と実行委員会主催の中央企画、実行委員会主催の後夜祭の三つに大きく分かれています。

クラスの出し物には全クラス(19クラス)が参加しました。出し物の内容にはクイズ、映画、演劇、展示、迷路、フーリングカップル、喫茶店、サーも中央企画として行われ、収益金は、ユニセフなどに募金されました。

そして、文化祭のフィナーレ部、無線部、写真部、山岳部、弓道部、美術部、スキー部、プラスバンド会の部・会と二つの有志団体の参加がありました。お客がたくさん入り、盛り上がりが出し物もあり、見た人に感動を与えた出し物もありました。

中央企画は、今回で5回を数える法政仮装大賞が、記念会館で行われました。各クラスから1団体ずつ参加し、仮装を競い合うもので、たいへんな盛り上がりを見せていました。また、チャリティーバザーも中央企画として行われ、収益金は、ユニセフなどに募金されました。

レを飾る後夜祭は、体育館と記念会館の二か所で行われました。記念会館ではミス・プラタナスや女装コンテストなどが行われ、体育館ではバンド演奏などが行われました。このようにして、盛況のうちに一高生の熱い二日が過ぎて行きました。

(文責 豊田雄大)



伝統のプラタナス祭(H3年9月28日~29日)

HOSEI だより

活躍する一中・高の後輩たち

トラリア、ニュージーランドで行いました。スタッフ六名、選手三十五名で無事、目的を達成することができました。

結果は残念ながら、グラマースクールとは4-20、ケルストン高とは6-24と大敗してしまいましたが、内容的には賞讃できるゲームをすることができました。こうした活動の機会を与えて下さいました同窓の皆様のご支援は、国内はもとより、海外においてもすばらしいものがあり、私達の支えとなっております。

同時に、ラグビー部OB会、父母会が資金面の援助を過去10年にわたって続けて下さっています。この母校愛と奉仕の精神に対し深く感謝申し上げます。

さて、今年度の活動をふり返ってみますと、春、秋ともベスト8に残ることができました。特に夏合宿を過ぎてからは選手の伸び具合が私達の目にもはっきり見えるようになりました。全国大会都予選ではベスト4入りをかけ、城北高と対戦いたしました。しかし、トップ

ラグビー部は、体育館と記念会館の二か所で行われました。記念会館ではミス・プラタナスや女装コンテストなどが行われ、体育館ではバンド演奏などが行われました。このようにして、盛況のうちに一高生の熱い二日が過ぎて行きました。

また、ニュージーランドでは、同国を代表する、オークランド・グラマースクールとケルストン・ボーイズスクールと対戦することができました。

プロとの差はつめることができたといいが実感です。今は新年度にむけ、冬休みも返上してトレーニング中です。学校にお越しの節はぜひグラランドにお立ち寄り下さい。先輩諸兄のご活躍をお祈り申し上げます。

ラグビー部部長 今村忠義  
監督 深沢真人



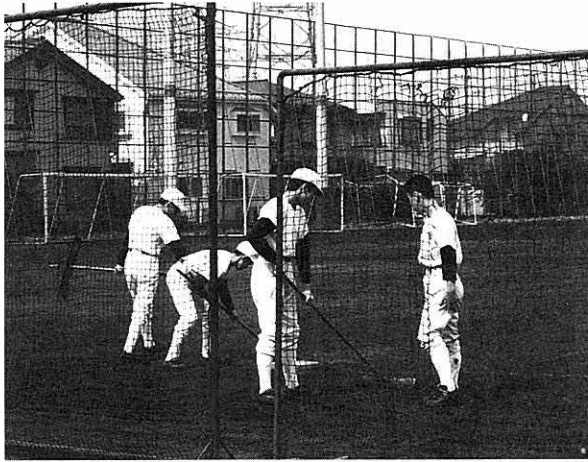
海外交流で技と力をつけたラグビー部 = オーストラリアにて

# 硬式野球部

甲子園をめざす

昨年は、グラウンドの周りの金網越しに同窓生の数多くの方に夏以降、励ましの声をかけていただきまして、責任の重大さと皆様の期待をヒシヒシと感じました。しかし、大きな魚を二尾も逃がしてしまつた気がしております。

夏は「完全燃焼・勝利をつかめ」のスローガンの元、三年生13名を中心に夢を目指しましたが、四回戦目に気持ちの調整に失敗してしまいました。田中君、と社会人の現役選手



めざせ甲子園＝グラウンド整備をする野球部員

に指導してもらえるようです。先輩、OB諸兄のご指導ご鞭撻を心からお願い申し上げます。

## 創設30周年を迎えた

# 弓道部

### 弓道部創立30周年

### 記念祝賀会開催

昭和三十六年(一九六一)に弓道部が創設されて平成三年で三十年たった。平成三年十月十九日に、それを祝う会が、新宿区神楽坂の日本出版クラブ会館の菊の間で夕刻より催された。

参加者は在校生を含めて八十余名であった。

初めに、創設当初から顧問をされていた坂本先生(現在は副顧問)のご挨拶、および弓道の範士吉田先生のご挨拶続いて牛田先生(現顧問)の発声により乾杯、さらに馬場校長先生のご挨拶のあと、第一期から三十期までの各期の諸兄が、次々に壇上に上がって思い出話などを披露した。終宴前に全員で校歌を斉唱記念写真撮影の後、最後に岡田OB会会長が締め括りの挨拶をされ、二時間半にわたる祝賀の宴を終わった。

坂本先生のご挨拶は、「この三十年間のOBの数は百五十名を越え、四十七才から十六才まで層が幅広くなったこ

げる次第です。

硬式野球部監督 平岩和弘

と、この日を迎えられたのは、範士の吉田先生のご指導のおかげと校長先生のご理解によるもの」と改めて謝辞を述べられ、また「OB会長を筆頭にOBの一人ひとりが石垣の石の一つ一つになって、しっかりと弓道部を支えてきてくれたためと感謝し、弓道を通じての不屈の精神がこの部を支

え、弓道部は永遠(くんであろう)と結んだ。校長先生は「いつも思うのが良い。それは、集中力を養うという訓練を経てきた賜物と思う。印度の文献の中の私の顔の表現に、一私の眉はピンと張った弓のようである」というのがある。これは美しい姿の象徴で、美人の眉も同じ表現がされている。弓道をやっているのだという人柄ができるのだなど、つねづね感じていた。どうかこの弓道部のよき伝統を受け継いで、技術の面だ



弓道部創設30周年祝賀会＝日本出版クラブにて

平成三年度におきまして、中学のテニス部が大活躍をしています。このまま伸びていけば、高校・大学でも大活躍が期待され、全日本クラスも夢ではありません。ぜひ、がんばって欲しいものです。主な試合の戦績は次のとおりです。

- 9月22日 武蔵野市、中学新人大会・団体戦優勝。
  - 10月6日 武蔵野、三鷹新人個人戦・優勝、準優勝3位、と上位独占。
  - 10月10日 武蔵野・三鷹新人団体戦・Aチーム優勝、Bチーム準優勝。
  - 11月3日 東京都中学新人個人戦・武蔵野・三鷹地区
- 代表2ペアに選ばれ出場  
加藤・岡崎組(3位)  
市村・松浦組(16位)  
11月4日 東京都中学新人団体戦・ベスト16。  
11月17日 多摩東区地区新人団体戦・ベスト8と大活躍しました。
- 出場部員は、加藤、岡崎、市村、松浦、金井、大塚、久本、山崎、森、小原、安達、須田、西場、溝手、紺谷、三浦(順不同)の諸君たちで、高校での活躍が期待される若さ一杯のテニス部員です。先輩、OB諸兄のご支援をお願いいたします。
- 中学テニス部顧問 若橋保男(高校8期卒)

# テニス部

## 大活躍の中学

「私が坂本先生から顧問を引継いで四年になる。弓道部ができて三十年とのこと、同慶の至りだが、実は今日は私の三十才の誕生日で、弓道部と同じ年に生まれたと思うと感無量のものがある。私もこの伝統ある弓道部を更に発展させていくことを約

束する」と述べられた。紙面の都合でOB会長の挨拶は割愛させていただいたが、現役の主将の桑原君が、「先輩方の築かれたこの素晴らしい部を守り、さらに我々が新しい良き伝統を築いていくように努力します」と元気に決意を述べたのが印象的であった。最後に、大阪、大津、仙台などからも先輩方が参加して下さったことに感謝しつつペンを置くことにする。

三井 肇(高校31期卒)

# 第6・7回 附属高校同窓会 役員懇親会開催

第6回懇親会は、平成3年1月26日(土)午後5時30分より、J・R関内駅近くの「大雅飯店」において法政大学附属高校(法政一高・法政二高・法政女子高・法政第一工業高)の同窓会役員の見学会を開催いたしました。

今回の幹事校は女子高のたけなご、近藤女子高同窓会会長の開催挨拶で会が始られ、附属各校の会長から現況報告を中心として、それぞれ挨拶がありました。



挨拶をされる近藤(女子高同窓会)会長  
—品川・ウイング「高輪」にて

女子高「女子高も間もなく50周年を迎えます。いろいろご協力、ご支援をお願いします。会員は一万三千人ほどになります。一度、全附属高校の合同同窓会をぜひ開催してみたいと希望しています。ご検討頂きますように」

工業高校「一高は、他とちがって若い人がすくないわけですが、何人でもいる限り続ける覚悟で運営しています。先日は、飯田橋会館で開催したところ、一七〇名の方が出席しました。また、昨年十一月から評議委員会を設置して賛助金の収集や総会への参加者も少しも増やすよう活動することになりました。各期の人たちの同期会や、ゴルフコンペ、開春大会なども盛んで同窓会からも若干の補助をしています」

二高「総会は毎年6月の第1日曜日に学校で開催しています。当会の特色は、理事が約二百人、各期から二名います。会員は一万七千人ほどです。二高では、穂高に山荘があることで、会員がよく利用しています。附属高校の同窓会で利用したいときがありましたら紹介できますので、二高の同窓会あてにお問い合わせください」

一高「次回の総会は、平成五年の六月頃を予定しています。会員は一万七千人ほどです。二高の同窓会あてにお問い合わせください」

なお、当日、偶然にも会場の隣室で法大ボクシング部のオリンピック出場選手の激励会が開催されていて、バルセロナへ出場する三名の部員を懇親会へ呼び、応援をするというハプニングもあり、校歌が二室で二回斉唱されるといって、法政一色の会場となりました。

## 同窓会役員(平成四年) 新年打合せ懇親会開催



同窓会役員は、平成四年初頭の新年打合せ懇親会を1月28日、午後6時より、有楽町ニュートキョー7Fの桃杏

同窓会役員は、平成四年初頭の新年打合せ懇親会を1月28日、午後6時より、有楽町ニュートキョー7Fの桃杏に開催しました。当日は、一高の小川副校長先生、岡倉事務局長先生も出席され、それぞれ、学校の現況報告、同窓会の協力依頼などの挨拶をしていただきました。ついで大石会長から「今年は委員総会を6月に開催したのでご協力をお願いしたい。また、会報の発行、同窓会名簿の補訂、さらには来年開催予定の全員総会の準備、などについて各担当の方のご協力をお願いする」との挨拶があり、今年度へのスタートをきる会合となりました。

なご、当日、偶然にも会場の隣室で法大ボクシング部のオリンピック出場選手の激励会が開催されていて、バルセロナへ出場する三名の部員を懇親会へ呼び、応援をするというハプニングもあり、校歌が二室で二回斉唱されるといって、法政一色の会場となりました。

出席者：一高・菅原会長七名、女子高・近藤会長他六名、二高・元末会長他五名、一高・大石会長、前田、岩村、川城の各副会長、広報委員長・黒澤、合計二十六名。(大石・黒澤)

杉村 勝敏氏(すぎむら・かつぞう)平成三年十二月十六日午後三時二十分、結腸癌のため、港区虎の門病院で死去、八十二歳。喪主は妻春江さん。自宅は新町十二。

## 会員の皆さんへ 年会費のお振込み 有難うございました

前号(第16号)で、会員の皆さんに、同窓会運営の基盤となる年会費のご納入をお願いいたしましたところ、たいへん多数の方々から会費のお振込みをいただきました。同窓会役員一同、心から厚くお礼申し上げます。

納入者数、額等は左記の通りです。

### 記

(平成四年一月現在)  
会費納入者数 七二二人(二〇千円以上)  
同 金額 約一三〇万円  
一月末現在でも、まだ寄せられておりましたが、一万円〜五千円をお振込いただいた方も多数おられ、事務局でも同窓会員の皆さんの積極的な納入に胸を熱くしております。

今号にもひきつづき振込用紙を同封いたしました。平成三年度分以上をお振込いただいた方も同封されておりますので、ご了承下さいますようお願いいたします。

平成四年度からは、一口二千円以上と改訂されましたが、ぜひ、今後とも会費のお振込みにご協力下さいませ、お願いいたします。

法政大学第一高等学校・同窓会

氏は、学校が市ヶ谷から吉祥寺に移転直後から、PTA役員として、また、五十五年からPTA、OB会世話人代表として、永年の間、法政一中・高発展のために、献身的

二宮賢一



平成4年度

委員総会開催のお知らせ

(全員総会に代えての開催)

下記により同窓会委員(学年・クラス委員)の総会を開催いたします。各期の学年・クラス委員の皆さんはぜひご出席ください。

記

日時:平成4年6月3日(水)

6:30 P.M.

場所:主婦会館

(JR四ツ谷駅 東口すぐ前)

議題:全員総会の代替のため、詳細は後からお知らせします。

委員の皆さんには案内状(出欠返信はがき同封)を後送します。必ずご返信ください。

一高同窓会会長 大石勝康
同総務委員長 鈴木嘉能

年会費振込用の用紙を今号にも同封しました。ご利用のうえ、年会費をご納入下さい。

同窓会活動を進めてゆくには、どうしても一定の財源が必要です。別掲してありますように、昨年度は多数の方々から年会費のお振込をいただきましたが、まだ未納の会員(本紙発送対象の方の中で)の方たちも多数おられます。同窓会活動を維持するためにも、ぜひ、年会費のお払込みをお願いいたします。☆年会費は一口2,000円以上です。

法政大学経済学部
同窓会設立総会の
お知らせ
経済学部同窓会設立準備会

この度「経済学部同窓会設立総会」を開催します。設立準備会は九十年十月、「経済学部創設七十周年記念卒業生の集い」を機に結成さ

住所変更があった方は、クラス委員か、一高同窓会宛に必ずご連絡下さい。(何期・何組・旧住所も添えて)

〒194-102 町田市相原町四三四二 法政大学経済学部内 経済学部同窓会設立総会 準備事務局

日誌 三月十五日(日)
午前十一時から
場所 法政大学富士見校舎
※終了後懇親会(五千円)を行います。
出席者は(卒業年・学科)を記入のうえ至急、左記にご連絡ください。

監査・会計監査 片庭伸一 (H24.1~3.31)

平成2年度収支決算書

法政大学第一高等学校同窓会

Table with 5 columns: 科目, 項目, 予算額, 決算額, 差異, 備考. Section: 収入の部 (単位 円)

Table with 5 columns: 科目, 項目, 予算額, 決算額, 差異, 備考. Section: 支出の部 (単位 円)

平成3年度収支予算書(案)

(H3.1~4.3.1)

法政大学第一高等学校同窓会

Table with 5 columns: 科目, 項目, 予算額, 内訳. Section: 収入の部 (単位 円)

Table with 5 columns: 科目, 項目, 予算額, 内訳. Section: 支出の部 (単位 円)

伝統ある大学では各学部毎に同窓会があり、本大学にも、工学部・社会学部に同窓会があり活発な活動を行っています。
学部同窓会は、今まではばらになつていた卒業生を組織し、お互いの親睦を深めるための場を提供し、学部の教育研究の発展のために何らかの支援を行ない、母校法政大学の発展に寄与するためにも必要であると考えています。
来る同窓会設立総会には、多くの卒業生が参加されるようご案内申し上げます。



(プラタナス祭にて)

PTA活動の核となったPTA誌「ほうせい」は三六年に第一号を出してから五五年までに三八号を数え、公費助成の紹介をはじめ数々の教育問題を具体的な形でとりあげてきた。父母の側からは水畑道子、近藤緑(第四回大仏次郎賞受賞作家近藤信行夫)というすぐれた編集者を求め得た幸いもあった。それは校内に新鮮な風をなげかけてくれたし、また日本の私学でもかなりユニークなPTA誌としての内実を備えていた。父母の層としても異色の人が時々現れた。松本清張は三〇年に、そのすぐあと、松枝茂夫(魯迅選集訳者)、飯田蝶子らが子息を本校に通わせた。

「親から選んだ法政に、この六年間、子どもが、拙者は満足だね」という顔で、ハリ切って登校していく姿をみて本当に良かったという気持で一杯です。ところで子どもの話になると、よくどうして法政を選んだのかと聞かれます。

いたんです。主人と私は育った環境も、性格も仕事も全然ちがいますので、めったに話が一致することがないんですけれど、法政ということでは、ピタリと一致しちゃったんです。」女優・飯田蝶子談

# 法政一中・高小史

## <6> 成長期 (II)

\*50年史より

同窓会は一六一年に水谷校長によって「同窓会委員を命じる」形式で倉沢豊丸(元倉長)らが役員に推されたが、発展は戦後になってからで、母校愛をさすずに団結の輪がくり

この質問こそ私の望むところなんです。深い深い訳があるんですからね。まず私は法政の庶民性が気に入っているんです。主人(茂原英雄)が育つたところは麹町区三番町で今の法政のすぐそばだったんです。その頃は六大学が盛んで、法政が勝った時など、町中がこぞって提灯をつけて祝つたものだったそうです。そして主人はもし息子が生まれたら法政へ入れようと決めて

広げられ、三三年再建第一回総会を法政大学で開くことができた(六〇〇名参加)。三六年の第四回総会では九〇〇名(東条会館)、第七回総会は母校で行われ、一〇〇〇名をこえる参加者で熱気溢れるものがあつた(五二年)。続いて五四年には東急会館で第八回総会が行われ、九四歳の土居音三郎先生も出席された。多大の感銘を与えた。倉沢豊丸・中村雅明・斉藤英雄・野村光一・井沢雄蔵・佐藤康二・林英男・松本一磨・岩村元雄らが同窓会の組織固めに陰の力となつた。

市ヶ谷、小金井、多摩と三つのキャンパスに発展した法政大学の全貌を、一冊にまとめた美麗なアルバム「法政大学写真集」が刊行されます。

# 目で見る法政大学

## 美しい『写真集』刊行



この写真集は三年がかりで制作されたもので、一四〇点の写真が収録されています。四季の自然に織り込まれた自由の学風、アカデミクでス

ポートで、時には詩的な映像は、見る者の心をなごませるものがあります。同窓の方にもぜひ一見をお勧めしたい一冊です。国会図書館や、他大学、マスコミ関係へ寄贈されるほか国際交流の一環も狙って、和英併記の解説つきとなっております。変形A3判144頁。全頁カラーの箱入り豪華装丁本です。

大学の広報部では、三千元(送料別)の特別価格で希望者へ頒布する準備をすすめています。お問い合わせは、102千代田区富士見2-17-1 法政大学広報部(電話03-3264-1924)まで。

# 中学 入試終わる

平成4年度の中・高入試は2月3日、18日に、それぞれ無事終了しました。ベビーブームも終わり、急速な出生率の低下で、私立高校に比べてはまさに「戦国時代」の到来といつても過言ではありません。そのような時代の波に向かう法政一中高ですが悪い影響も現れず、中学で約10倍、高校でも4倍(一般受験)と順調な倍率を示しました。

高まる6年教育への期待 今年度の入試の背景については、マスコミ報道の通り、中学入試への殺到という現象を示しています。

募集	108	1175	205
合格者	90(推薦)	351	153
	100(一般)	441	104
計	190	792	257
(2月20日現在)			一中 82

このような期待や評価に応えるべく、「特別教室」の建築を初め、教育活動を「層飛躍」させるべく努力を重ねております。今後ともOBの皆様方の精力的なご指導、ご協力を賜りますようお願いいたします。(一中・高山崎記)

湾岸戦争が収まり、ほっとしたのも束の間、国内ではバブル経済の崩壊、雲仙大噴火、金融不祥事多発など全般的に暗い動きの平成三年でしたが、なんといつても歴史的にも世界的にも大きな変化は、ソ連邦の消滅はないでしょうか▼日本は、これから何処に向かうか、何をしてくべきかをめぐる時が来たようです▼教育の問題にしても偏狭な怪物に振り回され受験テクニックのみ上手な生徒が合格し、一人ひとりが持つ可能性や、すぐれた人間性が重視されないという偏った風潮がまだ主流のようです▼伝統のあるわが母校では、校長先生初め全教職員の方たちが「自主・自律」という校訓のもとに、生徒各人の持つあらゆる能力を思いきって伸ばすという、本来の教育姿勢があることは心強い限りだといえましょう▼時あたかも生徒人口の減少期に入り、私立中高ではどこでも厳しい趨勢を乗り越えようと最大の努力を払いつつあります▼わが同窓会も母校の発展のために物心両面から、ますますの支援を続けてゆき、結果としてそれが会員互助の実につながれば、同窓会の発展にも寄与できるのではないのでしょうか。重澤)

ご投稿をお待ちします。同窓会死にじょうぞ。

# 後記

内ではバブル経済の崩壊、雲仙大噴火、金融不祥事多発など全般的に暗い動きの平成三年でしたが、なんといつても歴史的にも世界的にも大きな変化は、ソ連邦の消滅はないでしょうか▼日本は、これから何処に向かうか、何をしてくべきかをめぐる時が来たようです▼教育の問題にしても偏狭な怪物に振り回され受験テクニックのみ上手な生徒が合格し、一人ひとりが持つ可能性や、すぐれた人間性が重視されないという偏った風潮がまだ主流のようです▼伝統のあるわが母校では、校長先生初め全教職員の方たちが「自主・自律」という校訓のもとに、生徒各人の持つあらゆる能力を思いきって伸ばすという、本来の教育姿勢があることは心強い限りだといえましょう▼時あたかも生徒人口の減少期に入り、私立中高ではどこでも厳しい趨勢を乗り越えようと最大の努力を払いつつあります▼わが同窓会も母校の発展のために物心両面から、ますますの支援を続けてゆき、結果としてそれが会員互助の実につながれば、同窓会の発展にも寄与できるのではないのでしょうか。重澤)